

平成20年度第2四半期「景気動向調査」結果報告

景気、スローダウン 両業種とも厳しい経営環境が続く

コメント:

【製造業】

売上(出荷)高では、対三カ月前比で若干回復が見られたものの、前年同時期調査のような大幅なDI値の上昇は見られなかった他、対前年比項目では7期連続してDI値の下降が続いている。

景況感では、対三カ月前比において大幅に回復を見せた前回DI値は今回調査で低落し▲40.0(以下、▲印はDI値のマイナス値を示す)を記録した他、対前年比でも同様に▲43.3を記録し厳しい結果となった。

原油・原材料高騰による影響については、「経営を揺るがす程の影響」の回答が調査開始以来(平成17年11月)、初めて「経営努力の範囲で対応できる程の影響」を上回る結果となった。価格転嫁の面では「半分ぐらい転嫁できている」との回答割合は58.8%と前回と変わらなかった一方、「ほとんど転嫁できていない」が6.4%減少し、「ほぼ転嫁できている」は5.9%増加した。

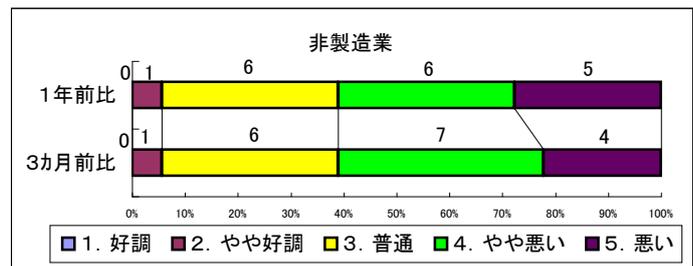
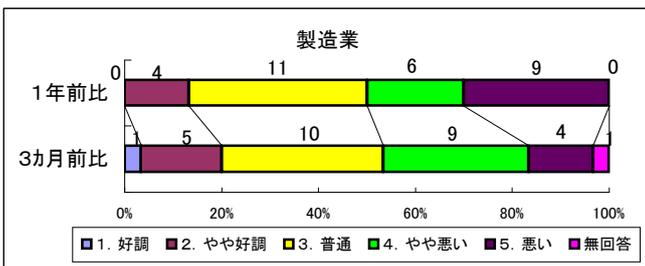
【非製造業】

売上(出荷)高では回復をみせた前回DI値から対三カ月前・対前年比のいずれの項目においても下降し、調査開始以来最も低位DI値となった。しかし、最近の調査ではDI値が上昇・下降を繰り返す一進一退の流れが続いている。

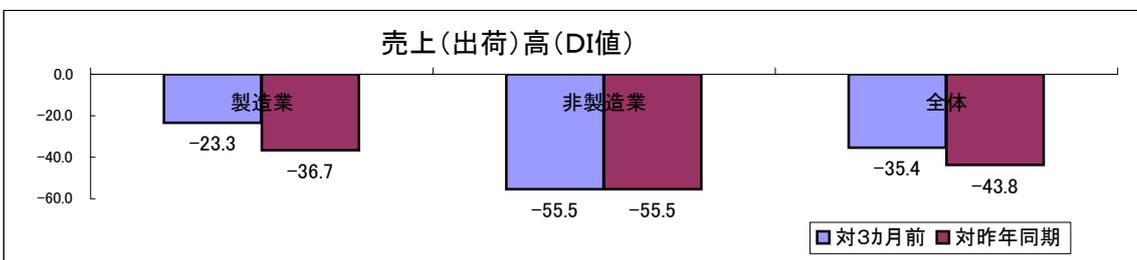
景況感でも売上(出荷)高同様に今回調査では過去最も低位のDI値を記録。対前年比項目では3期連続して下降傾向が続いている。

原油・原材料高騰による影響では、「経営を揺るがす程の影響」と「経営努力の範囲で対応できる程の影響」が同率値(いずれも44.4%)であった。価格転嫁の面では「半分ぐらい転嫁できている」の回答割合は前回調査より2.8%増加、「ほとんど転嫁できていない」が16.7%減少し、「ほぼ転嫁できている」は13.9%増加して非製造業全体の全体の25.0%を占める結果となった。

1. 売上(出荷)高について

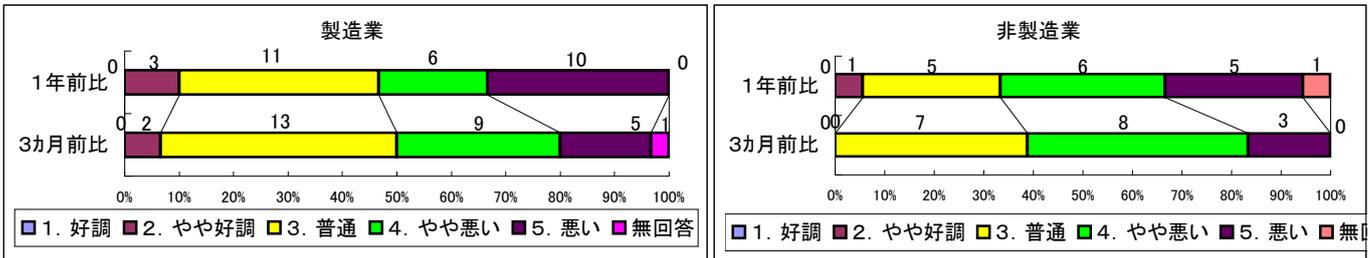


DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-23.3	-36.7	-25.9	-33.3
非製造業	-55.5	-55.5	-33.3	-33.3
全体	-35.4	-43.8	-29.5	-33.4

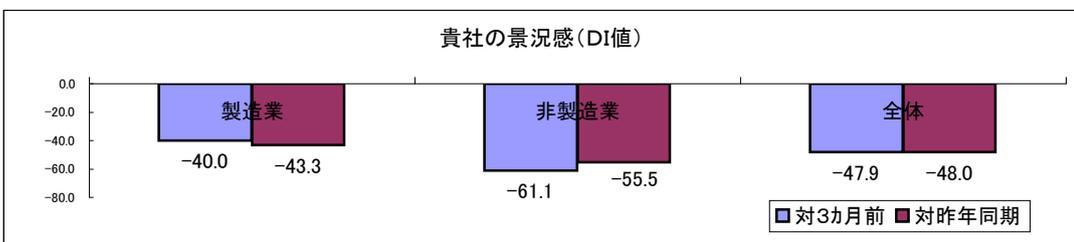


対三カ月前比では製造業が2.6ポイント(以下、ポイントは省略)上昇した一方、非製造業では22.2下降。
 対前年比では製造業が3.4、非製造業では22.2下降。
 両業種とも前回調査において対三カ月前比でDI値が改善され、回復傾向となるかどうか注目されたが製造業で若干の回復、非製造業では前々回のDI値をさらに下回る結果となった。
 対前年比では両業種とも調査開始以来(平成16年2月)、最も低位な水準を記録。製造業においては7期連続してDI値が下降している。

2. 貴社の景況感について



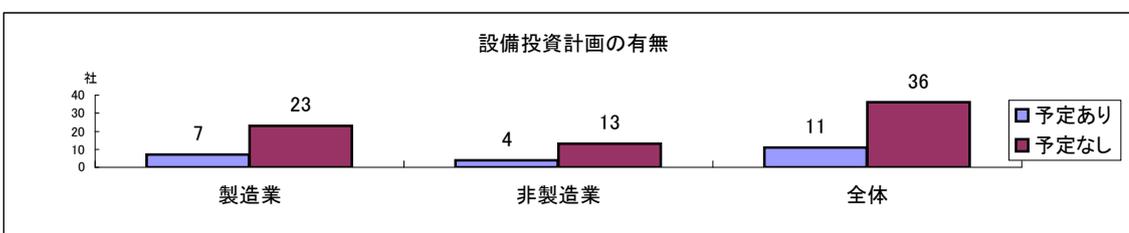
DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-40.0	-43.3	-18.5	-22.2
非製造業	-61.1	-55.5	-45.8	-50.0
全体	-47.9	-48.0	-31.3	-35.3



対三カ月前比では製造業が21.5、非製造業でも15.3下降。
 対前年比では製造業が21.1、非製造業では5.5下降。
 対三カ月前比項目では、両業種とも前々回調査で大幅に落ち込みを見せたDI値を前回調査で回復したものの今期調査では、いずれも大幅に下降した。
 対前年比項目においても対三カ月前比同様、前回調査DI値から下降した。非製造業では3期連続して下降傾向が続いている。

3. ①設備投資計画について

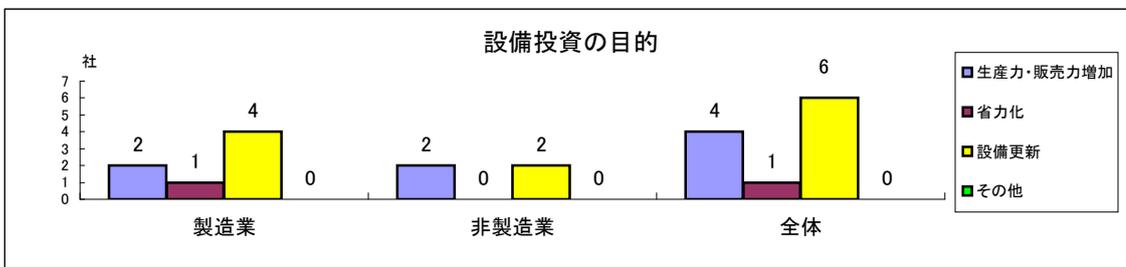
	予定あり		予定なし		無回答		合計	
製造業	7	23.3%	23	76.7%	0	0.0%	30	100.0%
非製造業	4	22.2%	13	72.2%	1	5.6%	18	100.0%
全体	11	22.9%	36	75.0%	1	2.1%	48	100.0%



製造業では23.3%、非製造業では22.2%が設備投資を計画している。設備投資予定割合は非製造業で、ほぼ前回と同割合であったが、製造業では投資予定割合が減少(21.1%減)した。

3. ②設備投資目的について

	生産力・販売力増加	省力化	設備更新	その他	合計
製造業	2	1	4	0	7
非製造業	2	0	2	0	4
全体	4	1	6	0	11



製造業の投資目的は「設備更新」、非製造業では「生産力・販売力増加」・「設備更新」が最も多い。

4. ①原油・原材料高騰による影響について

今回調査	経営を揺るがす程の影響		経営努力の範囲で対応できる程の影響		影響なし		無回答		合計	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合
製造業	17	56.7%	11	36.7%	2	6.7%	0	0.0%	30	100.0%
非製造業	8	44.4%	8	44.4%	1	5.6%	1	5.6%	18	100.0%
全体	25	52.1%	19	39.6%	3	6.3%	1	2.1%	48	100.0%

前回調査	経営を揺るがす程の影響		経営努力の範囲で対応できる程の影響		影響なし		無回答		合計	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合
製造業	12	44.4%	14	51.9%	1	3.7%	0	0.0%	27	100.0%
非製造業	9	37.5%	14	58.3%	1	4.2%	0	0.0%	24	100.0%
全体	21	41.2%	28	54.9%	2	3.9%	0	0.0%	51	100.0%

製造業では「経営を揺るがす程の影響」の回答が調査開始以来(平成17年11月)初めて「経営努力の範囲で対応できる程の影響」を上回る結果となった。非製造業においても「経営を揺るがす程の影響」と「経営努力の範囲で対応できる程の影響」が同率値(いずれも44.4%)であった。製造業では5期、非製造業では2期連続して「経営を揺るがす程の影響」の回答割合が増加している。

4. ②原油・原材料高騰による価格転嫁について

今回調査	ほぼ転嫁できている		半分ぐらい転嫁できている		ほとんど転嫁できていない		合計	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合
製造業	1	5.9%	10	58.8%	6	35.3%	17	100.0%
非製造業	2	25.0%	2	25.0%	4	50.0%	8	100.0%
全体	3	12.0%	12	48.0%	10	40.0%	25	100.0%

前回調査	ほぼ転嫁できている		半分ぐらい転嫁できている		ほとんど転嫁できていない		合計	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合
製造業	0	0.0%	7	58.3%	5	41.7%	12	100.0%
非製造業	1	11.1%	2	22.2%	6	66.7%	9	100.0%
全体	1	4.8%	9	42.9%	11	52.4%	21	100.0%

※調査項目「原油高騰による影響」において「経営を揺るがす程」と回答された所を対象に行なった追加調査。
 製造業は前回と比較すると、「半分ぐらい転嫁できている」との回答割合は変わらず、「ほとんど転嫁できていない」が6.4%減少、「ほぼ転嫁できている」は5.9%増加した。
 非製造業では「半分ぐらい転嫁できている」との回答は前回調査より2.8%増加、「ほとんど転嫁できていない」が16.7%減少し、「ほぼ転嫁できている」は13.9%増加して非製造業全体の25.0%を占めている。

A. 調査概要

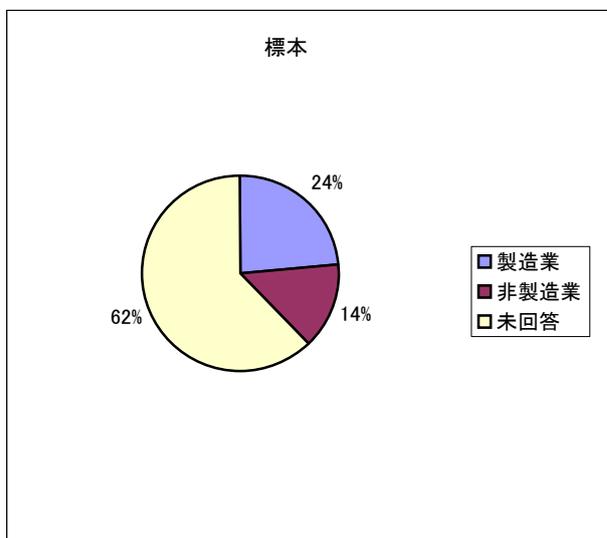
1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成20年7月31日～8月7日
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 各部会役員 127社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 標本数

	調査対象
一般工業	23
建設業	15
醤油工業	4
食品工業	10
皮革工業	18
公益業	15
サービス業	8
理財	8
商業	26
合計	127

	調査対象	回答	回答
製造業	70	30	42.9%
非製造業	57	18	31.6%
合計	127	48	37.8%
未回答		79	62.2%



集計表

1) 売上(出荷)額について

項目	3カ月前比					
	製造業		非製造業		合計	
1. 好調	1	3.3%	0	0.0%	1	2.1%
2. やや好調	5	16.7%	1	5.6%	6	12.5%
3. 普通	10	33.3%	6	33.3%	16	33.3%
4. やや悪い	9	30.0%	7	38.9%	16	33.3%
5. 悪い	4	13.3%	4	22.2%	8	16.7%
無回答	1	3.3%	0	0.0%	1	2.1%
合計	30	100.0%	18	100.0%	48	100.0%

DI値	-23.3	-55.5	-35.4
DI値(前回-5月)	-25.9	-33.3	-29.5
	2.6	-22.2	-5.9

項目	1年前比					
	製造業		非製造業		合計	
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	4	13.3%	1	5.6%	5	10.4%
3. 普通	11	36.7%	6	33.3%	17	35.4%
4. やや悪い	6	20.0%	6	33.3%	12	25.0%
5. 悪い	9	30.0%	5	27.8%	14	29.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	30	100.0%	18	100.0%	48	100.0%

DI値	-36.7	-55.5	-43.8
DI値(前回-5月)	-33.3	-33.3	-33.4
	-3.4	-22.2	-10.4

2) 景況感について

項目	3カ月前比					
	製造業		非製造業		合計	
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	2	6.7%	0	0.0%	2	4.2%
3. 普通	13	43.3%	7	38.9%	20	41.7%
4. やや悪い	9	30.0%	8	44.4%	17	35.4%
5. 悪い	5	16.7%	3	16.7%	8	16.7%
無回答	1	3.3%	0	0.0%	1	2.1%
合計	30	100.0%	18	100.0%	48	100.0%

DI値	-40.0	-61.1	-47.9
DI値(前回-5月)	-18.5	-45.8	-31.3
	-21.5	-15.3	-16.6

項目	1年前比					
	製造業		非製造業		合計	
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	3	10.0%	1	5.6%	4	8.3%
3. 普通	11	36.7%	5	27.8%	16	33.3%
4. やや悪い	6	20.0%	6	33.3%	12	25.0%
5. 悪い	10	33.3%	5	27.8%	15	31.3%
無回答	0	0.0%	1	5.6%	1	2.1%
合計	30	100.0%	18	100.0%	48	100.0%

DI値	-43.3	-55.5	-48.0
DI値(前回-5月)	-22.2	-50.0	-35.3
	-21.1	-5.5	-12.7

3) ①設備投資計画について

業種別	製造業	非製造業	合計			
1. 予定あり	7	23.3%	4	22.2%	11	22.9%
2. 予定なし	23	76.7%	13	72.2%	36	75.0%
無回答	0	0.0%	1	5.6%	1	2.1%
合計	30	100.0%	18	100.0%	48	100.0%

②設備投資目的について

業種別	製造業	非製造業	合計			
1. 生産力・販売力増加	2	28.6%	2	50.0%	4	36.4%
2. 省力化	1	14.3%	0	0.0%	1	9.1%
3. 設備更新	4	57.1%	2	50.0%	6	54.5%
4. その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	7	100.0%	4	100.0%	11	100.0%

4) ①原油高騰による影響について

業種別	製造業	非製造業	合計			
1. 経営を揺るがす程の影響	17	56.7%	8	44.4%	25	52.1%
2. 経営努力の範囲で対応できる程の影響	11	36.7%	8	44.4%	19	39.6%
3. 影響なし	2	6.7%	1	5.6%	3	6.3%
4. 無回答	0	0.0%	1	5.6%	1	2.1%
全体	30	100.0%	18	100.0%	48	100.0%

②原油高騰による価格転嫁について

業種別	製造業	非製造業	合計			
1. ほぼ転嫁できている	1	5.9%	2	25.0%	3	12.0%
2. 半分ぐらい転嫁できている	10	58.8%	2	25.0%	12	48.0%
3. ほとんど転嫁できていない	6	35.3%	4	50.0%	10	40.0%
4. 無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	17	100.0%	8	100.0%	25	100.0%